

西洋美術史入門

准教授 瀧口美香

1. 研究内容

このゼミでは第一に、作品を前に、何をどう見ればよいのかというポイントを学びます。それらを手がかりとして、作品との対話を深めていきます。自分の感性を存分に働かせて作品と向き合う時、自分の中から予想もしなかったことばが引きだされます。また、同じ作品を他の人はいったいどのように見るのか、ということに耳を傾けることによって、作品の見方はさらに深まっていきます。このゼミでは、毎回画像を使用し、今まで見たこともなかったような作品、有名だけれども意識してよく見たことがなかった作品を、ていねいに見ていきます。2年次春学期には、各自好きな作品を取り上げて、短いプレゼンテーションの練習をします。2年次の夏休みには、実際に美術館を訪れて、各自が作品を選び、レポートを書きます。2年次秋学期には、レポートに基づくプレゼンテーションを行います。3年次春学期は、作品がいつ・どこで・誰によって・何のために作られたのかという点に注目し、作品を歴史の中に位置づけていきます。このような体験から、自分らしい作品の見方を見つけ出してください。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は、作品の見方について、基本的な学習を行うとともに、毎回、担当教員が与える課題について、話し合いを行います。

夏休みには、実際に美術館を訪れて、各自が作品を選び、レポートを書きます。秋学期には、レポートに基づくプレゼンテーションを行いません。合宿は行わない予定です。

《3年次》

春学期、秋学期ともに、具体的なテーマを設定して個人研究を行い、ゼミにおいて成果を発表します。合宿は行わない予定です。

《4年次》

課題レポート作成の指導を個別に行いません。秋学期には、レポートに基づくプレゼンテーションを行いません。合宿は行わない予定です。

3. 教材

教科書は特に使用しませんが、さっそく何か読んでみたいという人には以下の二点をおすすめします。読みやすく、楽しく、目から鱗が落ちます。

マルシア・ポイントン著、木下哲夫訳『はじめての美術史』スカイドア、1995年。

アメリア・アレナス著、福のり子訳『なぜ、これがアートなの』淡交社、1998年。

4. 成績評価の方法

演習への貢献度・参加態度、毎回演習時間内に書く短い課題（2年次春学期）、夏休みのレポート、プレゼンテーションへの取り組み、成果報告を総合的に判断します。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

絵を見るのが好きな人も、絵を見るのが楽しいなんて今まで思ったことがない人も、ぜひこのゼミで、さまざまな作品との出会いを体験してください。